



新しい杉玉を軒下につるす蔵人ら＝飛騨市古川町老之町、渡辺酒造店

新酒蔵出し、鮮やか「杉玉」

飛騨市の酒造店で掛け替え

飛騨市古川町老之町の渡辺酒造店で1日、

新酒の初蔵出しを祝う縁起物の「杉玉」の掛け替えが行われ、観光客らが緑の大玉を見上げながら振る舞い酒を味わった。

杉玉は直径約80センチ、重さ約70キログラムのジャンボサイズ。神事後、法被姿の蔵人らが、はしごに登って茶色に変色した軒下の古い杉玉を外し、鮮やかな緑色の真新しい杉玉を取り付けた。

新酒は、先月上旬に仕込んだ吟醸生原酒「蓬萊新酒しぼりたて」で、観光客らに振る舞われた。渡辺久憲専務(43)は「今年は酒米の出来がよく、こくがあってフルーティーな味に仕上がった」と話していた。

同酒造店では、来年4月中旬まで約8000キログラム(1升瓶約45万本分)の清酒を生産する予定。(古宿博史)